



## 給付奨学金制度について(2019.4～)

2019年度4月より、ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム履修生の中で特に優秀な学生に対して、受給申請に基づき、選考を経た上で給付奨学金を支給する制度を設けます。

給付奨学金は、「学資に充てるため給付される金品」として「非課税所得」となるので、課税対象にはなりません。

また毎年の予算状況によっては支給金額が変更される場合があります。

要項や書類などはH30年度の情報ですので現状参考程度に参照してください。

2019年度の新規申請時に情報が更新されることがありますので、注意してください。

### 【要項など】

- ・給付奨学金受給ハンドブック(履修生用) ※H30年度履修生用(2019年度版は現在調整中) ([現状参考ですpdf](#))

### 【関連書類様式】

- ・給付奨学金受給調書 ([※H30年度版 参考pdf](#))
- ・誓約書 ([※H30年度版 参考 pdf](#))
- ・振込依頼書 ([※H30年度版 参考 様式 xlsx](#))
- ・給付奨学金支給停止申請書(様式2) ([※H30年度版 参考 word](#))
- ・給付奨学金証明書交付願(様式3) ([※H30年度版 参考 word](#))

## 給付奨学金の受給資格(H30年度の要項より)

給付奨学金の受給資格については、支給年度において、次の各号に掲げる全ての基準に該当することとします。

1. 休学をしていないこと。
2. 独立行政法人日本学術振興会の特別研究員(DC)として採用されていないこと。
3. 国費留学生として、日本政府(文部科学省)奨学金を受給していないこと。
4. 月額5万円以上の給付型奨学金を受給していないこと。 ([※H30年度の月額であり、H31年度=2019年度は月額が変わる可能性があります](#))

## 2019年度の支給金額

給付奨学金の支給金額は、プログラムにて年度毎に月額を決定します。2019年度については次の額を規定額としますが、予算等により増額される場合があります、最終的な2019年度の支給月額の決定は3月末頃となります。(下記月額は2019年度についての基本支援額=最低額と考えてください)

- ・博士前期課程および5年一貫博士課程の2年次以下に在籍：月額2万円
- ・博士後期課程および5年一貫博士課程の3年次以上に在籍：月額3万円

なお、選考において学業および研究活動などきわめて優秀であると判断される履修生については、審査により「大阪大学博士課程教育リーディングプログラム履修生対象給付奨学金実施要項 第3条」に定める月額上限(博士前期6万円、博士後期9万円)を超えない範囲で、月額に加算することがあります。

また、プログラムでの活動状況に問題を認めた場合は、プログラムコーディネーターの判断にて支給の停止・再開を行うことがあります。

## 給付奨学金の申請と選考

給付奨学金の受給者は、年度単位で決定します。受給を希望する履修生は、年度ごと定められた期間内に申請書をプログラム事務局に提出する必要があります。(申請期間は、在学中の履修生は2月～3月、新規の履修生は4月中旬を目途とし、毎年指定されます。)  
選考はプログラム責任者・プログラムコーディネーターを中心としたプログラム企画運営委員会幹事会にて、所属研究科およびプログラムでの活動状況などにに基づき審査し決定します。受給決定者には、給付奨学金受給決定通知書を発行します。

## 申請期間

2019年度(2019年4月～2020年3月)の**在学中の履修生**の申請受付は以下とします。

**2019年2月〇日(〇)～〇日(〇) PM5時まで**

## 申請書類

受給を希望する方は上記指定の期日までに、以下の書類をプログラム事務局に提出してください。

※2019年度版は現在作成中です、追って掲載します

1. 給付奨学金受給調査書 (※H30年度版 参考pdf)
2. 誓約書 (※H30年度版 参考pdf)
3. 振込依頼書(新入生のみ) (様式 xlsx)

## その他重要事項

### 【給付奨学金支給日】

給付奨学金は、毎月25日(土日祝の場合は、前日の平日)に、受給者から届け出のあった銀行口座に振込むことにより支給します。なお、新規受給者の支給開始時においては、数ヶ月分を取りまとめて振込むことを予定しています。

### 【給付奨学金支給の停止】

**停止手続きは、停止する前月末までに手続きが必要です。**

＜大学を休学・退学する場合＞――> 所属する研究科へ休学願・退学願を提出するとともに、プログラム事務局へ**所定の手続き**と「**給付奨学金支給停止申請書(様式2)**」(H30版参考)を提出してください。

＜プログラムの履修を辞める場合＞――> プログラムの履修を辞退をする場合は、履修を辞めた翌月から給付奨学金の支給は停止します。**履修辞退の手続き**と併せて「**給付奨学金支給停止申請書(様式2)**」(H30版参考)を提出してください。

＜プログラムの履修を一時停止する場合＞――> プログラムの履修を一時的に停止する場合は、**履修停止の手続き**と併せて「**給付奨学金支給停止申請書(様式2)**」(H30版参考)を提出してください。

＜その他受給を停止する場合＞――> この給付奨学金の受給資格を満たさなくなった場合、また、自己都合で受給を停止する場合は「**給付奨学金支給停止申請書(様式2)**」(H30版参考)を提出してください。

※届出がなくても受給資格を満たさなくなったことが発覚した場合は、給付奨学金の支給を停止します。また、学業成績及び履修状況(履修継続見込み状況を含む)の評価により、給付奨学金の支給を停止することがあります。

※届出をしなかったことにより、休学・退学後に給付奨学金が支給された場合、休学・退学後に支給された給付奨学金を返還しなくてはなりません。また、必要な届出をしなかった場合は、停止の理由が発生した月以降の給付奨学金の返還が求められる場合があります。

### 【給付奨学金受給証明書(和文・英文)】

給付奨学金受給者であることの証明が必要な場合は、給付奨学金金額・給付奨学金受給期間等を記載した、給付奨学金受給証明書を発行します。**給付奨学金証明書交付願(様式3)**をプログラム事務局に提出してください。

※証明書発行には1週間程度を要します。急ぎの方は先にメールにて交付願いのスキャンデータをお送りください。



## 授業料免除制度について (2019.4～)

2019年度(前期分)より、本プログラムを含むリーディング履修生に授業料を免除(全額免除)する制度が開始されます。

**前期分・後期分それぞれについて**、所定の時期に必要な書類を提出し、免除された履修生は、期末に**履修状況報告**の提出が必要です。

なお、本制度については、毎年度、大学の財務状況その他の状況を勘案し、見直される場合があります。

要項や書類などはH30年度の情報ですので現状参考程度に参照してください。

2019年度の受付期間開始時に情報が更新されることがありますので、注意してください。

### 【要項など】

- ・授業料免除についての説明 (pdf)
- ・大学院学則抜粋 (pdf)
- ・学部学則抜粋 (pdf)
- ・学生納付金規定(H29.4.1改正) (pdf)

### 【関連書類】

- ・意思確認書(様式2) (word)
- ・履修状況報告書(様式3) (word)

## 授業料免除対象者

プログラムを履修する者のうち、**博士後期課程(生命機能研究科の学生は博士課程3年次以上)に在籍する**学業成績が優れている者で、春・夏学期及び秋・冬学期(以下「当該期」といいます)において、以下に掲げる全てに該当し、かつプログラム責任者から、授業料免除適格者として推薦を受けた履修生が対象となります。

1. 所属研究科の標準修業年限(在学期間に休学期間を含まない)を超過していない者
2. 当該期において、プログラムの履修を中断していない者
3. 当該期において、この制度以外による授業料の免除又は不徴収の措置を受けていない者
4. 当該期において、授業料の納付を目的とした奨学金等による経済的援助を受けていない者

## 授業料免除の推薦をうけるための手続き

プログラム責任者が、当該期ごとに授業料免除適格者として推薦し、推薦された者について国際共創大学院学位プログラム推進機構会議を経て免除者が決定します。上記免除対象者に該当し免除を希望する履修生は、推薦をうけるための所定の必要書類を定められた期日までにプログラム事務局に提出する必要があります。

※前期分、後期分それぞれについて手続きが必要です

### 手続き期間

2019年度前期分 (2019.4月～9月分) 必要書類受付期間

**2019年2月0日(○)～0日(○) PM5時まで**

2019年度後期分 (2019.10月～2020.3月分) 必要書類受付期間

**2019年8月0日(○)～0日(○) PM5時まで**

## 手続きに必要な書類

授業料免除を希望する方は上記指定の期日までに、以下の書類をプログラム事務局に提出してください。

○ 意思確認書（様式2）(word)

## 授業料免除の許可

プログラム責任者からの推薦をもって、国際共創大学院学位プログラム推進機構会議を経て授業料免除許可者を決定し、授業料免除を許可された履修生には、「授業料免除許可通知書」が交付されます。

## 履修状況の確認

授業料免除対象となった履修生は、プログラムにおける履修状況を確認するため、定められた期日までに履修状況報告書をプログラム事務局に提出する必要があります。

2019年度前期分（2019.4月～9月分）履修状況報告書 提出期間

**2019年9月〇日(〇)～〇日(〇) PM5時まで**

2019年度後期分（2019.10月～2020.3月分）履修状況報告書 提出期間

**2020年3月〇日(〇)～〇日(〇) PM5時まで**

## 提出書類

授業料を免除された方は上記指定の期日までに、以下の書類をプログラム事務局に提出してください。

○履修状況報告書（様式3）(word)

## その他重要事項

※授業料免除を許可されている履修生で、次のいずれかの事由で当該期の途中でプログラムの履修を中断(停止)又は離脱(履修資格失効)する場合は、中断・離脱以降の月の授業料を納付する必要があります。

- 学部学則第33条に規定する懲戒処分を受けたとき
- プログラムの履修の継続が不適当であるとプログラム責任者が認めたとき

※大学院の在籍は継続し、プログラムの履修を停止又は辞退する場合は、停止・辞退後の授業料を納付する必要があります。(大学院を含めた休学、退学、修了及びその他の学籍異動による場合の授業料の取り扱いは、大学院学則及び学生納付金規程の定めるところによります)